

2021年9月5日

東海旅客鉄道株式会社（JR 東海） サービス相談室 御中

NPO 法人日本タバコフリー学会

<http://tobaccofree-adv.main.jp/>

代表理事 藺 潤（医師）

新幹線の喫煙ルーム及び駅構内喫煙所閉鎖の要望

拝啓

当会は、毎年日本で十数万人の死亡原因である喫煙（受動喫煙死亡者は1万5千人）による健康被害をなくし、最終的にはタバコのない社会を目指して活動しているNPO法人で、会員には多くの医療関係者が含まれています。

さて、貴社におかれましては、新型コロナ禍で大変な中、感染症対策に種々の予防策を講じていただき、感謝しています。

[https://recommend.jr-central.co.jp/zurashi-tabi/promise/?utm\\_source=jr-central.co.jp&utm\\_medium=referral&utm\\_campaign=own](https://recommend.jr-central.co.jp/zurashi-tabi/promise/?utm_source=jr-central.co.jp&utm_medium=referral&utm_campaign=own)

ご承知の通り新型コロナウイルス対策では、マスクを着用することが極めて重要とされており、マスクをはずさざるを得ない飲食の場が、大きな感染源とされています。

しかし、もう一つのマスクをはずす場所として、喫煙所の存在がクローズアップされています。政府（内閣官房）の作成したパンフレットにも喫煙所が危険であることが明記されており、閉鎖あるいは使用禁止になっている喫煙所も少なくありません。[https://corona.go.jp/proposal/pdf/5scenes\\_poster\\_20201211.pdf](https://corona.go.jp/proposal/pdf/5scenes_poster_20201211.pdf)

残念ながら貴社におかれましては、新幹線の全列車に喫煙ルームが設置されており、駅の構内にも喫煙室があり喫煙者は入れ替わり利用しています。

兵庫県内の地方紙（丹波新聞8月10日）に次の記事が掲載されました。

\*\*\*\*\*

兵庫県丹波地域の病院に2週間入院、8月5日に退院した同県丹波市内の30代会社員男性に、発症から退院までの様子を聞いた。男性は、社用の東京出張から戻った後、調子を崩した。「都内では外食せず、ホテルでコンビニ飯。用心していた。どこでもらったのか分からず、事故に遭ったようなもの。」東京で1泊。「東京で立ち寄ったのは、ホテル、コンビニ、ファストフード店。人がいるところでマスクを外したのは、帰りの新幹線乗車前の、客のまばらなファストフード店(店内でコーヒーを1杯飲んだ)と、新幹線の車内の喫煙コーナー(定員2人)ぐらいだった。」(後略)

\*\*\*\*\*

<https://tanba.jp/2021/08/%e3%80%8c%e4%ba%8b%e6%95%85%e3%81%ab%e9%81%ad%e3%81%a3%e3%81%9f%e3%82%88%e3%81%86%e3%80%8d-%e6%9d%b1%e4%ba%ac%e5%87%ba%e5%bc%b5%e5%be%8c%e3%81%ab%e3%82%b3%e3%83%ad%e3%83%8a%e7%99%ba%e7%97%87%e3%81%ae/>

新幹線の喫煙ルームは狭い空間に二人が入りマスクをはずし喫煙するので、ここで感染した可能性が最も高いと思われます。

また、同様に駅構内の喫煙所も非常に危険性が高いと思われます。特に駅の場合是一般に収容人数も多く、さらに利用者の入れ替わりも激しいので、利用者が感染者と接触する頻度も高くなると思われます。

日本での新型コロナウイルスによる死者数は、累計1万6,340人、一日60人(2021年9月4日現在)に上っていますが、受動喫煙による死亡は日本で年間1万5千人と推計されています。

従って、受動喫煙防止のためには勿論、利用者の新型コロナ感染防止のためにも、新幹線車両内の喫煙ルームおよび駅構内の喫煙所の閉鎖は必須で喫緊の対策と考えます。

上記の理由から、可及的早期に全新幹線車両内の喫煙ルームおよび駅構内の喫煙所の閉鎖を強く要望させていただきます。閉鎖は一時的ではなく、恒久的な閉鎖をお願いします。

ご多忙中に恐縮ですが、返信用封筒を同封しますので、この要望書に対するご回答を、本年10月4日までに書面で頂きたく、よろしく願い申し上げます。

敬具